

平成28年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	南都留郡西桂町小沼	地区名	(一)富士吉田西桂線(小沼工区)	事業主体	山 梨 県
	当初計画	現計画	今回見直し予定					
計画期間	H18年度~H26年度	H18年度~H29年度	H18年度~H34年度					
総事業費	2,200百万円	2,500百万円	-					
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
<p>一般県道富士吉田西桂線は、富士吉田市を起点に西桂町に至る路線であり、本県の富士北麓・東部地域唯一の幹線である一般国道139号を補完する道路である。現道は4m程度の道路であり、すれ違いも困難であるとともに歩道がないことから歩行者の安全も確保されていない状況にある。特に朝夕は、国道139号の抜け道として交通量が多く、また、中央自動車道のスマートICへのアクセス道路としての機能も期待されることから早急な整備が必要である。</p>								
②事業概要								
<p>計画延長：L=1,780m W=6.0(10.75) m 道路幅員：車道6.0m(2車線) 歩道3.5m(片側) 主要構造物：橋梁2橋</p>								
③現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容)								
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	平成29年度以降					
工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事(小倉橋) 橋梁工事(白山川橋)	用地補償 道路改良工事	道路改良工事					
事業費	2,300百万円	100百万円	100百万円					
④特記事項								
2工区に分けて事業を行っており、平成27年3月までに、1工区(L=1,290m)が、供用開始している。								
⑤再評価時等の評価状況								
<p>「平成17年度事前評価」 この事業は、西桂町米倉地区と四方地区を結ぶ県道のバイパスを整備するものであり、地区内を通行する車両と歩行者の安全確保及び国道139号の渋滞解消を図るため必要な事業として、実施を妥当とした。</p>								
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
①地域・住民の意向状況								
1工区間供用前に、2工区間での説明会を実施したところ、安全確保のため早期に整備するよう求められた。								
②産業・経済情勢								
同路線に、NEXCO中日本が整備している(仮称)富士吉田北スマートインターチェンジが予定されており交通量が増加する見込み。								
③国等の方針変更								
なし								
④上位計画・関連事業計画等の変更								
「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月策定)								
⑤自然環境条件等の変化								
なし								
⑥その他								
1工区の供用により、2工区(事業中区間)の交通量が、供用前の527台が1,596台となっている。一方で、1工区の現道は、交通量が878台が544台となり安全が確保された。								
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C(18年度) 便益(B)/費用(C)=2.96>1.0 再評価時計画における事業全体B/C(28年度) 便益(B)/費用(C)=2.16>1.0 								
(山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上)								

2. 再評価調書

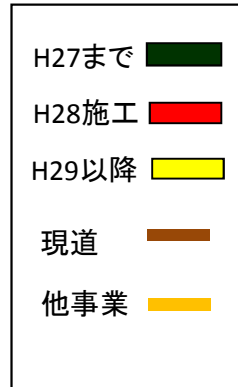
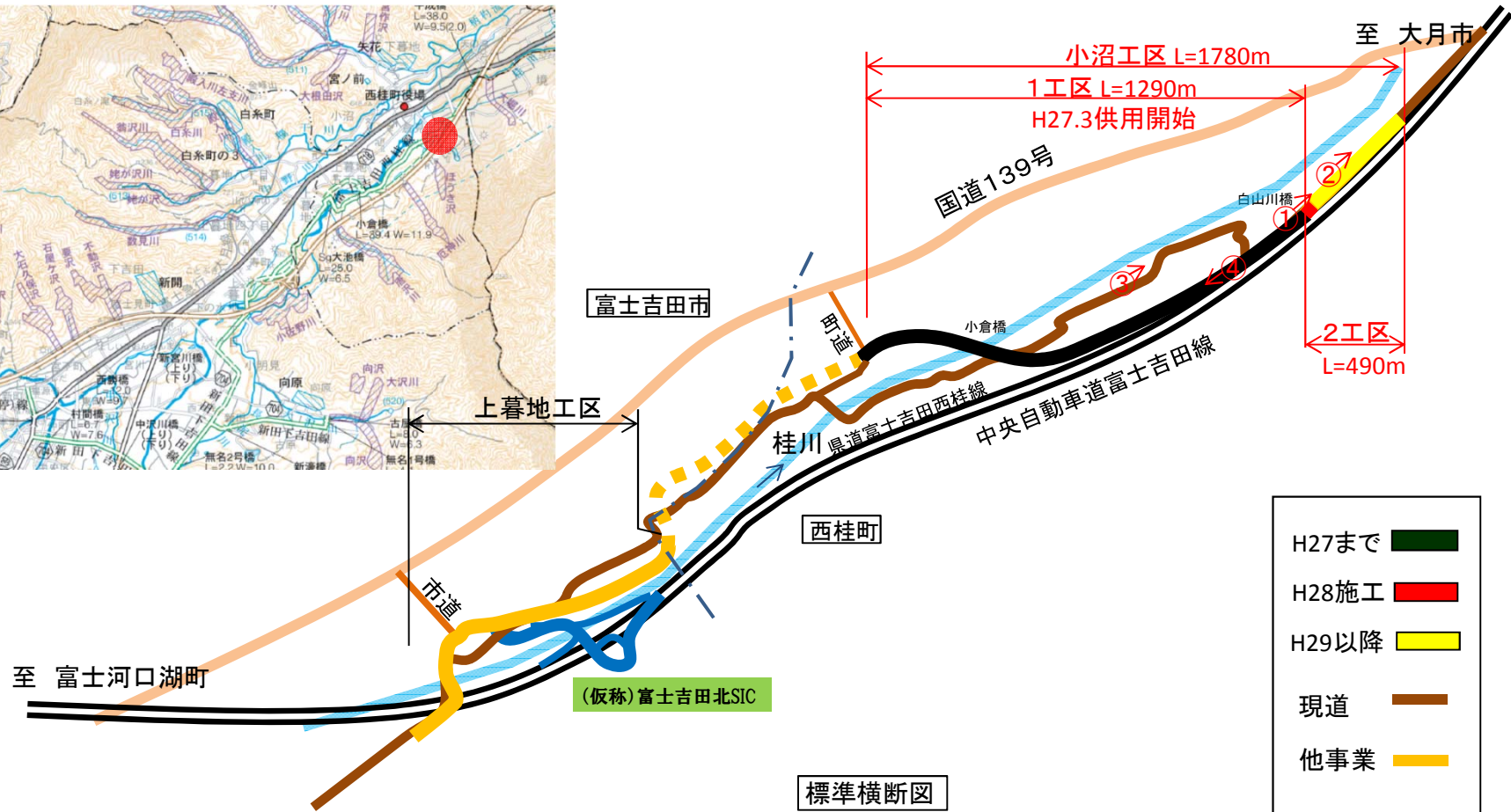
(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]		⑤今後の事業執行上の問題点																																																										
<p>①これまでの計画変更等の概要</p> <p>当初は、現地地形に合わせた縦断計画であったが、走行性、安全性を配慮し、実施設計時に道路の縦断線形を変更したことにより、総事業費の見直しを行った。</p> <p>(平成19年度変更内容) 総事業費 当初 約22億円 → 変更 約25億円</p> <p>計画への反対などを理由に用地交渉が難航し、不測の年月を要したため。 (平成25年度変更内容) 完成年度 当初 平成26年度 → 変更 平成29年度</p> <p>②施行済みの事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度まで</th> <th>平成28年度 (評価実施年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事(小倉橋) 橋梁工事(白山川橋)</td> <td>用地補償 道路改良工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,038百万円</td> <td>50百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>③進捗率 (現計画に対する実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>*平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>4.0</td> <td>14.0</td> <td>24.0</td> <td>34.0</td> <td>44.0</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>2.2</td> <td>8.2</td> <td>28.1</td> <td>54.8</td> <td>58.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>56.0</td> <td>68.0</td> <td>80.0</td> <td>88.0</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>64.3</td> <td>71.4</td> <td>78.5</td> <td>79.7</td> <td>81.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>96.0</td> <td>100.0</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>83.5</td> <td></td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">H28の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由</p> <p>富士吉田西桂線、小沼バイパスは1工区、2工区に分けて事業を進めている。2工区は人家が連担しており、13件(残り9件)の家屋移転を伴う用地交渉が必要な区間であり、代替地の確保や建替えの方法、残地の処理や新設道路との段差の処理など多種多様な条件の合意に時間を要している。 なお、1工区については平成27年3月に供用開始を行っている。</p>			平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事(小倉橋) 橋梁工事(白山川橋)	用地補償 道路改良工事	事業費	2,038百万円	50百万円		*平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計 画	4.0	14.0	24.0	34.0	44.0	実 績	2.2	8.2	28.1	54.8	58.5		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計 画	56.0	68.0	80.0	88.0	92.0	実 績	64.3	71.4	78.5	79.7	81.5		平成28年度	平成29年度	算出方法	計 画	96.0	100.0	計画事業費/総事業費×100	実 績	83.5		実施事業費/総事業費×100	<p>⑥今後の事業の進捗の見込み (計画期間について記載)</p> <p>地元西桂町との情報交換や不動産情報をもとに円滑な代替地確保に努め、工期を5年延長し、平成34年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 (総事業費について記載)</p> <p>なし</p>	
	平成27年度まで	平成28年度 (評価実施年度)																																																										
工事内容	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 道路改良工事 橋梁工事(小倉橋) 橋梁工事(白山川橋)	用地補償 道路改良工事																																																										
事業費	2,038百万円	50百万円																																																										
	*平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度																																																							
計 画	4.0	14.0	24.0	34.0	44.0																																																							
実 績	2.2	8.2	28.1	54.8	58.5																																																							
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度																																																							
計 画	56.0	68.0	80.0	88.0	92.0																																																							
実 績	64.3	71.4	78.5	79.7	81.5																																																							
	平成28年度	平成29年度	算出方法																																																									
計 画	96.0	100.0	計画事業費/総事業費×100																																																									
実 績	83.5		実施事業費/総事業費×100																																																									
(5) 評価項目 [環境への配慮]		擁壁高さを低く抑え、緑化法面を大きくして周辺との調和を図っている。 また、コンクリートの壁面については自然石風なものを使用している。																																																										
(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]		なし																																																										
(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]		なし																																																										
(8) 所管部の今後の方針		継続・ 見直し継続 ・その他 ()																																																										
(理由)		人家連担区間の用地買収に相当の期間を要するため、事業期間を5年延長し、平成34年度の完成を目指す。																																																										

3. 添付資料シート（1）

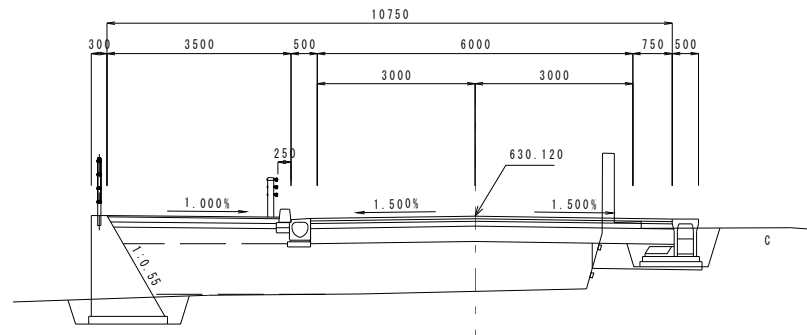
位置図



平面図



標準横断面図





① 小沼2工区 起点部



② 小沼2工区 拡幅区間



③ 小沼1工区 現道



④ 小沼1工区 供用済区間

年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H18	55,440	測量調査、道路詳細設計	2.2%
H19	150,563	橋梁詳細設計、用地補償	8.2%
H20	497,372	用地補償、道路改良、橋梁工(白山川橋、小倉橋)	28.1%
H21	667,423	用地補償、道路改良、橋梁工(白山川橋、小倉橋)	54.8%
H22	91,518	用地補償、道路改良、橋梁工(小倉橋)	58.5%
H23	145,686	用地補償、道路改良、橋梁工(小倉橋)	64.3%
H24	177,879	用地補償、道路改良	71.4%
H25	177,825	用地補償、道路改良	78.5%
H26	28,906	用地補償、道路改良	79.7%
H27	45,538	用地補償	81.5%
H28	50,000	用地補償、道路改良	83.5%
H29	75,000	用地補償、道路改良	86.5%
H30	75,000	用地補償、道路改良	89.5%
H31	65,000	用地補償、道路改良	92.1%
H32	45,000	用地補償、道路改良	93.9%
H33	75,000	道路改良	96.9%
H34	76,850	道路改良	100.0%
合計	2,500,000		